



神戸税関

わたしのまちの National Gate

2025年10月22日

~美味しい！を一年中～

かぼちゃの輸入



神戸港 数量・金額ともに37年連続全国シェア1位！



メキシコとニュージーランドからの輸入が9割以上を占める

1. はじめに



税関イメージキャラクター カスタムくん

もうすぐハロウィンですね。街は華やかな装飾で彩られ、オレンジ色のかぼちゃがあちこちに登場する季節です。食卓でも、煮物やスープ、天ぷら、グラタンなど、かぼちゃのほっこりとした甘みを生かした温かい料理が、ひときわ美味しい感じられる時期となりました。

かぼちゃは栄養豊富で、特に β -カロテンやビタミンCは風邪予防に効果があるとされています。これから寒くなる季節に向けて、積極的に取り入れたい、頼もしい秋の野菜です。

国産かぼちゃの収穫時期は初夏から夏にかけてですが、収穫直後は水分が多く、甘みが弱い傾向があります。そのため、しばらく貯蔵して「追熟」させることで、甘みや旨み、さらには栄養価が高まります。このような理由から、国産かぼち

ゃの食べごろの旬は秋から冬にかけてとされています。

現在では、かぼちゃは一年を通して手に入れることができます。これは国産品の端境期（品薄になる時期）に海外から輸入されているためです。中でも神戸港は、かぼちゃの輸入量・輸入額ともに37年連続で日本一の輸入港となっています。今回は、美味しい栄養満点の食材「かぼちゃの輸入」について取り上げます。

- 本資料でいう「かぼちゃ」は、輸入統計品目番号0709.93の「かぼちゃ類(ククルビタ属のもの)」(2011年以前は、輸入統計品目番号0709.90-091の「かぼちゃ」)を集計したものです。
- 本資料は統計として比較可能な1988年以降のデータを基礎としています。
- 本資料における2023年以前の数値は確定値、2024年の数値は確々報値、2025年上半年の数値は確報値です。

2. 貿易動向

(1) 輸入実績推移

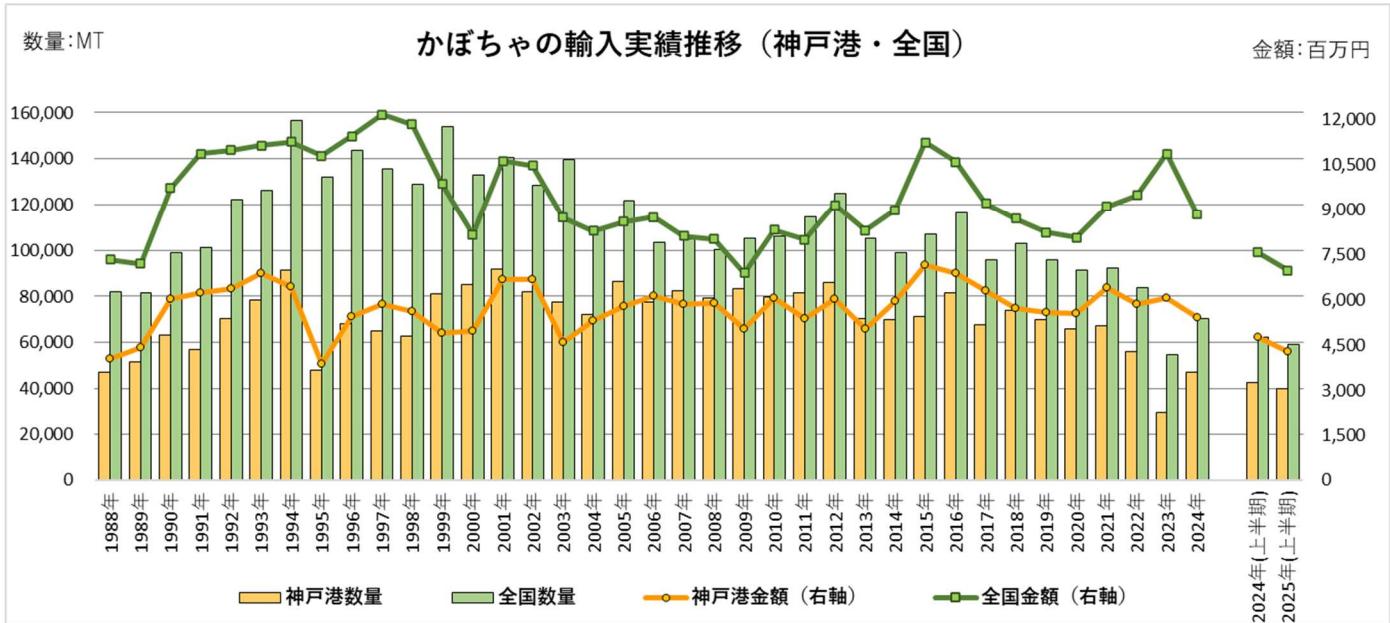
・近年輸入数量は減少傾向

2024年のかぼちゃの輸入は

〔神戸港〕 数量 47,085 トン、金額 54 億 2 千 5 百万円

〔全 国〕 数量 70,574 トン、金額 88 億 4 千 2 百万円

となりました。



統計データとして比較可能な 1988 年（昭和 63 年）から 2024 年までの輸入実績をみると、神戸港は数量・金額ともに、37 年間連続で全国シェア 1 位を維持しています。

グラフをみると、神戸港の輸入量が大きく減少した 1995 年は、神戸港が壊滅的な被害を受けた阪神・淡路大震災の年にあたります。それにもかかわらず、この年も神戸港はシェア 2 位の大坂をわずかに上回り、全国シェア第 1 位を維持しました。

また、神戸港・全国とともに輸入量が大きく落ち込んだ 2023 年は、ニュージーランドで発生したサイクロンの影響により、収穫前の多くの畑が水没し、収穫不能となったことが主な要因とされています。この影響で輸入量が減少し、相場が高騰した結果、価格も上昇しました。

業界の方の話によると、近年は価格の高騰や調理の手間などを理由に、国内におけるかぼちゃの消費量が減少傾向にあり、それに伴い、国内の生産量だけでなく、輸入量も減少しているとのことです。

【コラム】阪神淡路大震災当時のお話

阪神淡路大震災が発生した 1995 年 1 月、神戸港を中心とした物流は大きな打撃を受けました。当時を経験した業界の方によると

「震災発生当初、港は使用不能となり、すでに神戸港に向かっていたかぼちゃは急遽、大阪や関東、台湾などの他港で荷下ろしせざるを得ない状況となりました。倉庫も液状化や停電の影響で機能せず、神戸以外の場所に作業場を確保し、他港で荷揚げした貨物をそちらへ運び込むことで事業の継続を図りました。

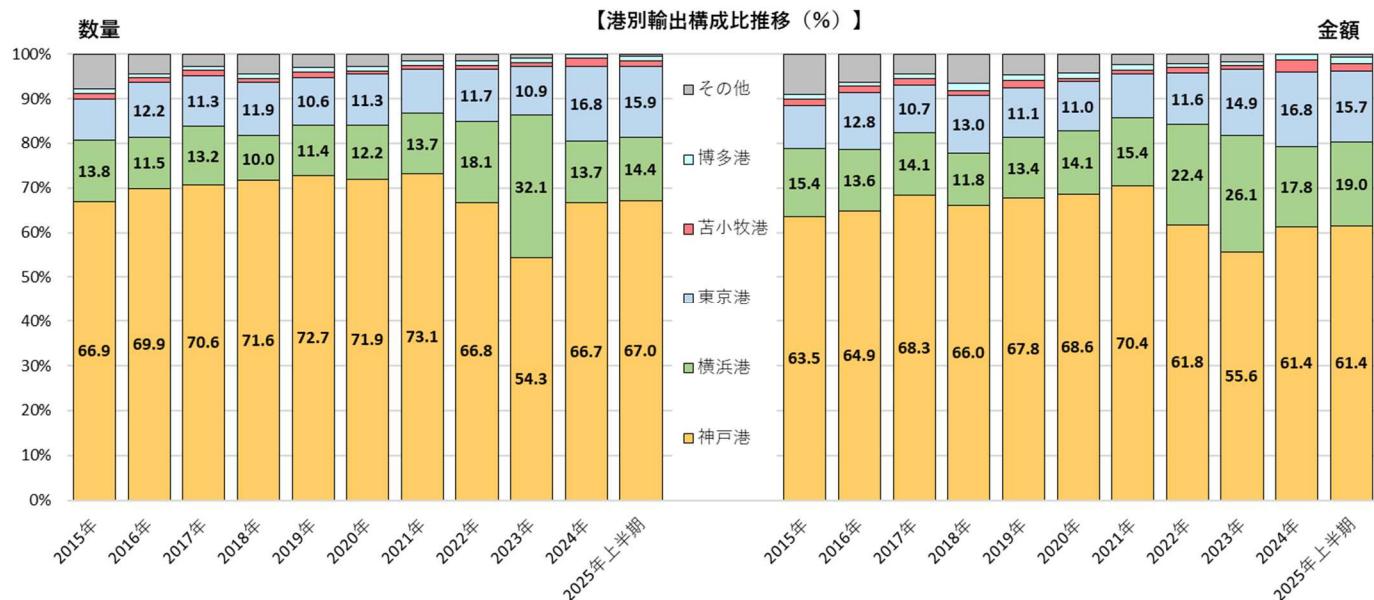
また、国内の他地域の協力先にも作業を依頼し、分散体制でかぼちゃの取り扱いを進めました。神戸港が復旧した後は、全国に分散していた貨物を再び集約し、通常業務へと移行しましたが、一部の貨物は神戸港から離れ、他港での輸入体制へと移行しました。」との事でした。



(2) 港別輸入実績

・神戸港の全国シェアは6~7割台で推移

2024年の全国における神戸港の輸入シェアは、数量が66.7%、金額が61.4%を占め、全国1位となっています。

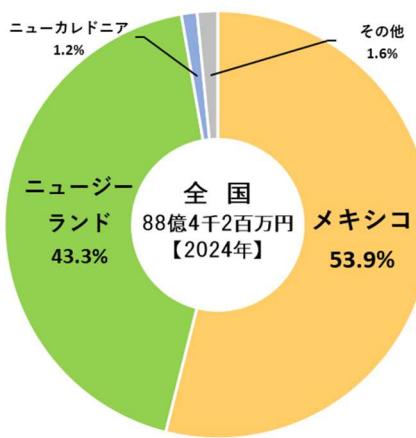
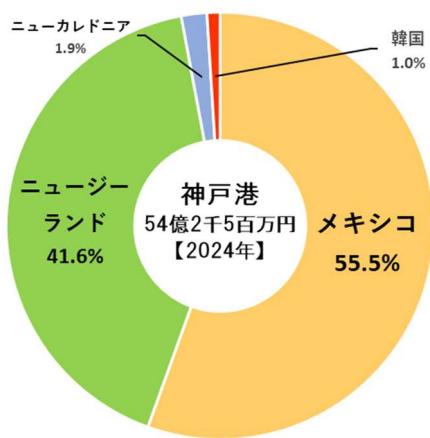


神戸港のシェアが高い要因としては、古くから青果を取り扱う業者が集積していることに加え、通関から出荷までの作業が迅速で、コスト面でも優位である点が挙げられます。また、国内流通に適した立地であることも、シェアの高さを支える重要な要素とされています。

(3) 国・地域別輸入実績

・メキシコとニュージーランドで全体の97%を占める

2024年、神戸港はメキシコ、ニュージーランド、ニューカレドニア、大韓民国の計4カ国・地域から、全国は、上位4位は神戸港と同じですが、次いでオーストラリア、アメリカ、南アフリカ共和国、スペイン、オランダ、ポルトガルの計10カ国・地域から輸入されました。



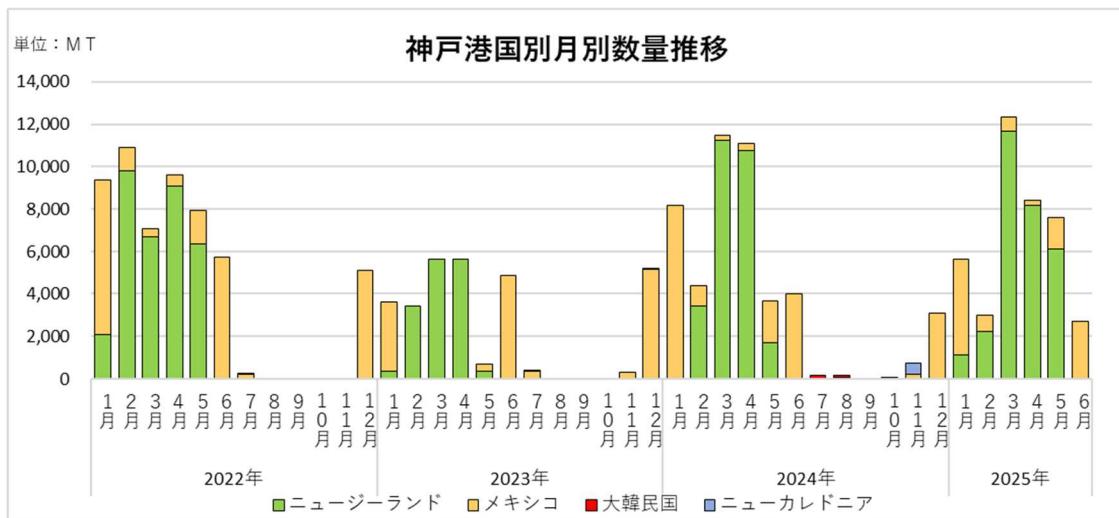
海外から日本に輸入されるかぼちゃの多くは、日本から持ち込まれた種を用い、日本人向けに栽培されたものだとのことです。

日本向けのかぼちゃの栽培地としてメキシコやニュージーランドが選ばれた背景には、日本の端境期に収穫が可能な気候条件に加え、温暖で湿度が低く、肥沃な土壌など、かぼちゃの栽培に適した環境が整っていたことなどが理由にあるそうです。

海外からの輸送については、リーファーコンテナで温度管理をしながら運ばれますが、その際に換気を行い、かぼちゃが窒息しないよう気を付けているとのことです。

(4) 月別の輸入動向

・国産品が出回らない時期に輸入



原産国別の輸入動向を月別に見ると、メキシコ産は12月・1月・5月・6月に、ニュージーランド産は2月から5月にかけて輸入されています。夏から秋にかけて輸入量が少ないので、国産かぼちゃの出荷時期と重なるためであり、これにより一年を通してかぼちゃが安定して供給される体制が整っています。

韓国では、かぼちゃの生育時期が日本と重なっているため、両国間で国内産が不足した際に、互いに融通し合うかたちで輸出入が行われているそうです。

3. おわりに

今後の輸入動向について、ニュージーランド産については、安定した気候と整った栽培体制により、今後も現状維持で輸入が続くと見込まれているとのことです。

一方、メキシコ産かぼちゃについては、温暖化の影響により栽培に適した気候条件が変化しつつあり、生産量は減少傾向にあるようです。さらに、為替の変動によって輸入コストが左右されやすく、将来的に輸入量は減少する可能性があるとの見方もあるようです。

外国産かぼちゃは、現地の専業農家によって丁寧に栽培されており、品質は非常に高い水準にあります。農薬の使用についても、日本より厳しい基準で管理されており、収穫から輸出までの工程においても厳格な品質管理が徹底されています。そのため、私たちは安心して、栄養価が高く美味しいかぼちゃを一年中通じて味わうことができるのです。

また、近年では、かぼちゃがケーキやプリンなどのスイーツ素材としても注目されており、新たなメニューへの活用が進んでいます。こうした新しい需要の広がりによって、かぼちゃの魅力がさらに高まり、今後の消費拡大にもつながることが期待されます。



神戸税関イメージキャラクター カスタムちゃん

○本資料を転載するときは、神戸税関の資料に基づく旨を注記してください。

○本資料に関しては、以下にお問い合わせください。

神戸税関調査部調査統計課 TEL 078-333-3065

神戸税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/kobe/>



かばちゃんの輸入数値表＜輸入統計品目番号 0709.93＞

◆輸入実績推移										
年	全国			神戸港						
	数量 (MT)		金額 (百万円)		数量 (MT)		前年比	全国比	金額 (百万円)	
	前年比	前年比			前年比	前年比	全国比		前年比	全国比
1988年	81,979	—	7,334	—	47,101	—	57.5%	4,060	—	55.4%
1989年	81,751	99.7%	7,203	98.2%	51,500	109.3%	63.0%	4,415	108.7%	61.3%
1990年	99,151	121.3%	9,728	135.1%	63,163	122.6%	63.7%	6,033	136.7%	62.0%
1991年	101,080	101.9%	10,883	111.9%	56,848	90.0%	56.2%	6,240	103.4%	57.3%
1992年	122,188	120.9%	10,996	101.0%	70,455	123.9%	57.7%	6,373	102.1%	58.0%
1993年	126,185	103.3%	11,143	101.3%	78,392	111.3%	62.1%	6,900	108.3%	61.9%
1994年	156,783	124.2%	11,276	101.2%	91,187	116.3%	58.2%	6,455	93.5%	57.2%
1995年	131,844	84.1%	10,802	95.8%	47,935	52.6%	36.4%	3,872	60.0%	35.8%
1996年	143,790	109.1%	11,463	106.1%	67,967	141.8%	47.3%	5,440	140.5%	47.5%
1997年	135,665	94.3%	12,183	106.3%	65,079	95.7%	48.0%	5,863	107.8%	48.1%
1998年	128,875	95.0%	11,853	97.3%	62,607	96.2%	48.6%	5,606	95.6%	47.3%
1999年	153,964	119.5%	9,872	83.3%	81,233	129.8%	52.8%	4,917	87.7%	49.8%
2000年	133,167	86.5%	8,181	82.9%	85,108	104.8%	63.9%	4,973	101.1%	60.8%
2001年	140,652	105.6%	10,641	130.1%	91,744	107.8%	65.2%	6,668	134.1%	62.7%
2002年	128,474	91.3%	10,478	98.5%	82,018	89.4%	63.8%	6,683	100.2%	63.8%
2003年	139,822	108.8%	8,733	83.3%	77,357	94.3%	55.3%	4,580	68.5%	52.4%
2004年	108,685	77.7%	8,290	94.9%	71,963	93.0%	66.2%	5,315	116.1%	64.1%
2005年	121,732	112.0%	8,600	103.7%	86,556	120.3%	71.1%	5,778	108.7%	67.2%
2006年	103,273	84.8%	8,752	101.8%	77,644	89.7%	75.2%	6,140	106.3%	70.2%
2007年	104,943	101.6%	8,132	92.9%	82,381	106.1%	78.5%	5,850	95.3%	71.9%
2008年	100,380	95.7%	8,023	98.7%	79,472	96.5%	79.2%	5,879	100.5%	73.3%
2009年	105,301	104.9%	6,895	85.9%	83,265	104.8%	79.1%	5,026	85.5%	72.9%
2010年	106,311	101.0%	8,329	120.8%	79,557	95.5%	74.8%	6,050	120.4%	72.6%
2011年	114,574	107.8%	7,998	96.0%	81,760	102.8%	71.4%	5,382	89.0%	67.3%
2012年	125,024	109.1%	9,163	114.6%	85,806	104.9%	68.6%	6,023	111.9%	65.7%
2013年	105,312	84.2%	8,319	90.8%	70,206	81.8%	66.7%	5,050	83.8%	60.7%
2014年	98,762	93.8%	8,994	108.1%	69,926	99.6%	70.8%	5,946	117.7%	66.1%
2015年	106,862	108.2%	11,253	125.1%	71,475	102.2%	66.9%	7,144	120.2%	63.5%
2016年	116,592	109.1%	10,602	94.2%	81,464	114.0%	69.9%	6,881	96.3%	64.9%
2017年	96,058	82.4%	9,217	86.9%	67,804	83.2%	70.6%	6,295	91.5%	68.3%
2018年	103,170	107.4%	8,700	94.4%	73,886	109.0%	71.6%	5,740	91.2%	66.0%
2019年	96,030	93.1%	8,248	94.8%	69,807	94.5%	72.7%	5,595	97.5%	67.8%
2020年	91,410	95.2%	8,072	97.9%	65,762	94.2%	71.9%	5,541	99.0%	68.6%
2021年	92,100	100.8%	9,112	112.9%	67,302	102.3%	73.1%	6,412	115.7%	70.4%
2022年	83,868	91.1%	9,498	104.2%	55,998	83.2%	66.8%	5,868	91.5%	61.8%
2023年	54,939	65.5%	10,883	114.6%	29,816	53.2%	54.3%	6,053	103.2%	55.6%
2024年	70,574	128.5%	8,842	81.2%	47,085	157.9%	66.7%	5,425	89.6%	61.4%
2025年上半期	59,348	95.0%	6,985	92.1%	39,768	92.9%	67.0%	4,288	89.7%	61.4%

※2011年以前の輸入統計品目番号は0709.90-091

◆港別輸出実績（数量）												(数量：MT)	
年	全国	神戸港		横浜港		東京港		苫小牧港		博多港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
2015年	106,862	71,475	66.9%	14,762	13.8%	9,796	9.2%	1,403	1.3%	980	0.9%	8,446	7.9%
2016年	116,592	81,464	69.9%	13,414	11.5%	14,248	12.2%	1,323	1.1%	910	0.8%	5,233	4.5%
2017年	96,058	67,804	70.6%	12,673	13.2%	10,895	11.3%	1,169	1.2%	820	0.9%	2,697	2.8%
2018年	103,170	73,886	71.6%	10,357	10.0%	12,328	11.9%	908	0.9%	1,180	1.1%	4,512	4.4%
2019年	96,030	69,807	72.7%	10,940	11.4%	10,225	10.6%	1,247	1.3%	1,013	1.1%	2,798	2.9%
2020年	91,410	65,762	71.9%	11,148	12.2%	10,340	11.3%	580	0.6%	943	1.0%	2,637	2.9%
2021年	92,100	67,302	73.1%	12,654	13.7%	8,994	9.8%	737	0.8%	915	1.0%	1,497	1.6%
2022年	83,868	55,998	66.8%	15,209	18.1%	9,782	11.7%	781	0.9%	734	0.9%	1,363	1.6%
2023年	54,939	29,816	54.3%	17,610	32.1%	5,964	10.9%	496	0.9%	528	1.0%	525	1.0%
2024年	70,574	47,085	66.7%	9,683	13.7%	11,835	16.8%	1,275	1.8%	649	0.9%	48	0.1%
2025年上半期	59,348	39,768	67.0%	8,536	14.4%	9,411	15.9%	684	1.2%	594	1.0%	355	0.6%

◆港別輸出実績（金額）												(金額：百万円)	
年	全国	神戸港		横浜港		東京港		苫小牧港		博多港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
2015年	11,253	7,144	63.5%	1,735	15.4%	1,063	9.4%	167	1.5%	114	1.0%	1,030	9.2%
2016年	10,602	6,881	64.9%	1,444	13.6%	1,359	12.8%	148	1.4%	98	0.9%	674	6.4%
2017年	9,217	6,295	68.3%	1,300	14.1%	985	10.7%	125	1.4%	100	1.1%	413	4.5%
2018年	8,700	5,740	66.0%	1,023	11.8%	1,129	13.0%	93	1.1%	143	1.6%	572	6.6%
2019年	8,248	5,595	67.8%	1,105	13.4%	919	11.1%	135	1.6%	110	1.3%	383	4.6%
2020年	8,072	5,541	68.6%	1,140	14.1%	892	11.0%	55	0.7%	104	1.3%	342	4.2%
2021年	9,112	6,412	70.4%	1,403	15.4%	882	9.7%	91	1.0%	108	1.2%	217	2.4%
2022年	9,498	5,868	61.8%	2,127	22.4%	1,097	11.6%	117	1.2%	92	1.0%	198	2.1%
2023年	10,883	6,053	55.6%	2,838	26.1%	1,619	14.9%	90	0.8%	83	0.8%	198	1.8%
2024年	8,842	5,425	61.4%	1,572	17.8%	1,487	16.8%	237	2.7%	105	1.2%	16	0.2%
2025年上半期	6,985	4,288	61.4%	1,326	19.0%	1,100	15.7%	126	1.8%	91	1.3%	54	0.8%

◆国・地域別実績（全国金額）												(金額：百万円)	
年	全世界	メキシコ		ニュージーランド		ニューカレドニア		大韓民国		オーストラリア		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2015年	11,253	5,597	49.7%	4,986	44.3%	244	2.2%	224	2.0%	-	-	201	1.8%
2016年	10,602	5,451	51.4%	4,590	43.3%	148	1.4%	191	1.8%	3	0.0%	219	2.1%
2017年	9,217	4,768	51.7%	4,037	43.8%	211	2.3%	157	1.7%	2	0.0%	41	0.4%
2018年	8,700	4,443	51.1%	3,727	42.8%	159	1.8%	265	3.1%	7	0.1%	100	1.1%
2019年	8,248	4,038	49.0%	3,828	46.4%	150	1.8%	150	1.8%	35	0.4%	47	0.6%
2020年	8,072	3,301	40.9%	4,355	53.9%	152	1.9%	216	2.7%	21	0.3%	26	0.3%
2021年	9,112	4,182	45.9%	4,644	51.0%	195	2.1%	70	0.8%	13	0.1%	9	0.1%
2022年	9,498	5,016	52.8%	4,433	46.7%	-	-	45	0.5%	2	0.0%	3	0.0%
2023年	10,883	5,145	47.3%	5,593	51.4%	88	0.8%	20	0.2%	34	0.3%	2	0.0%
2024年	8,842	4,768	53.9%	3,831	43.3%	105	1.2%	80	0.9%	50	0.6%	7	0.1%
2025年上半期	6,985	3,004	43.0%	3,980	57.0%	-	-	1	0.0%	-	-	-	-

◆国・地域別実績（神戸港金額）												(金額：百万円)	
年	全世界	メキシコ		ニュージーランド		ニューカレドニア		大韓民国		その他			
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2015年	7,144	3,112	43.6%	3,497	48.9%	244	3.4%	129	1.8%	162	2.3%		
2016年	6,881	3,281	47.7%	3,185	46.3%	148	2.1%	109	1.6%	159	2.3%		
2017年	6,295	2,902	46.1%	3,065	48.7%	211	3.3%	110	1.8%	7	0.1%		
2018年	5,740	2,806	48.9%	2,578	44.9%	136	2.4%	158	2.8%	62	1.1%		
2019年	5,595	2,443	43.7%	2,848	50.9%	150	2.7%	107	1.9%	47	0.8%		
2020年	5,541	1,955	35.3%	3,270	59.0%	152	2.8%	152	2.7%	12	0.2%		
2021年	6,412	2,709	42.2%	3,491	54.5%	195	3.0%	17	0.3%	-	-		
2022年	5,868	2,755	47.0%	3,099	52.8%	-	-	13	0.2%	-	-		
2023年	6,053	1,992	32.9%	4,046	66.8%	2	0.0%	13	0.2%	-	-		
2024年	5,425	3,010	55.5%	2,256	41.6%	105	1.9%	54	1.0%	-	-		
2025年上半期	4,288	1,608	37.5%	2,680	62.5%	-	-	-	-	-	-		